



本年もよろしくお願いいたします。二学期の終業式は、そら組が学年閉鎖となり寂しい式でしたが、三学期始業式は、全学年そろって行うことができました。カレンダーをめくりながら「この日が、そら組幼稚園最後の日」「この日が、ほし組とはな組の最後の日」と伝えると、三学期の短さに気づき「えー」という声が出ました。

短い三学期ですが、修了・卒業を前にもう一回り成長してほしいと思い、各学年に次のような話をしています。

はな組のみなさんへ

「毎日元気に幼稚園に来て、いろいろなことができるようになりました。ほし組になるために、『自分の荷物を自分で持つ。歩いて幼稚園に来る』ことを頑張ってください。」

担任も二学期の終わりに話をしたいと思います。駐車場から道路に出ると大きな声で朝のあいさつをする姿、自分のリュックサックを背負って歩く姿、道路で一度止まって左右を見る姿、肘をしっかり伸ばして手を挙げて道路を渡る姿が見られるようになり、成長を感じます。歩く力、安全確認の力、自分のことを自分でする力をつけて進級できるようご協力をお願いします。



ほし組のみなさんへ

「そら組から刺激を受けていろいろなことをやってみようとするようになりました。時々「難しい」「できん」とあきらめる姿を見て残念だなと思います。少し難しいこと、初めてすることも『やってみよう』と挑戦してみてください。」

新たに一輪車に取り組み始めた姿、回るまで何度も糸引きごまに取り組み姿、脱いだ制服の袖が裏になっていた時、自分で元に戻す姿に成長を感じます。担任は、すぐにやめようとする姿を見ると「園長先生と約束したのになあ」と声を掛け、子どもたちは、もう1回やってみようとしています。家庭でも声を掛けてみてください。



そら組のみなさんへ

「新しい遊びを考えたり、できるようになりたいことに何度も挑戦したりするようになりました。そら組のみなさんにもう少し頑張してほしいと思うことは、『人の話を最後まで聞く』ことです。友達の話の途中でしゃべっていませんか。先生の話の途中で動き始めていませんか。最後まで聞くとうまくいくことがたくさんありますよ。」

元気な子どもたちです。担任の話の途中で行動を始めたり、自分の考えを通そうとして相手の話を聞こうとしなかったりする姿が気になります。まだまだ修行中ですが、「最後まで？」と尋ねると、挙げた腰を下ろしながら「聞くー」と少し意識しています。私たち教師も、保護者の方も、子どもたちの話を最後まで聞き、また最後まで聞いてから行動し始めた時に認めるようにしていきたいですね。



三学期は短く、実質2か月です。子どもたちが、進級や入学を「負担」に感じるのではなく、「楽しみ」にすることができるような声を掛けて、励ましたり、認めたりしていきたいと思います。子どもたちのポケットの中に「1年生切符」「そら組切符」「ほし組切符」を時々プレゼントしています(透明なので見えませんが...). たくさんの切符をもって、自信をつけて進級・卒業してほしいと願っています。

きりとりせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。 園長だより 10 () 組 園児名 ()